

MTX-70P-81,L

MTX-70P-81 は MTX-70-84、MTX-70-88 と組み合わせて使用するマトリックススイッチャー操作パネルです。特定の出力チャンネルに対して入力素材を素早く確認したい場合に有用で、モニターセレクトパネルとしてご活用いただけます。

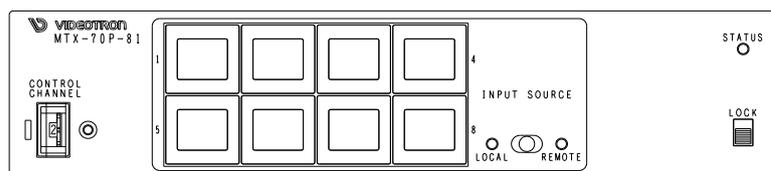
キートップに最大 8 文字の漢字表示が可能な MTX-70P-81 と、コストを抑えた MTX-70P-81L を取り揃えております。

MTX-70P-84、MTX-70P-88 の操作パネルと混在可能で、最大 8 台まで接続することができます。

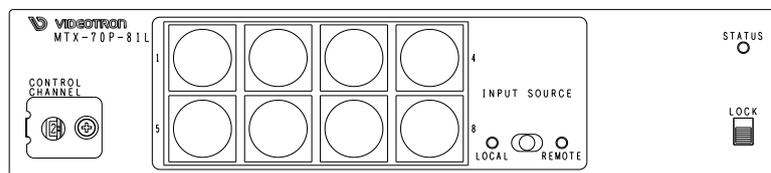
■特長

- ✓ パネルのキートップに漢字で最大 8 文字の表示が可能 ※1、※3
- ✓ パネルのキートップのデザインはユーザーで任意にカスタマイズ可能 ※2、※3
- ✓ 入力のチャンネル毎にバックライトの発光色を指定することが可能、※3
- ✓ キートップのデザイン／発光色は専用のツールで MTX-70 本体に記録するので、パネルの増設も簡単 ※3
- ✓ 一台の MTX-70 本体に対して、MTX-70P-81,L を最大 8 台までカスケード接続可能 ※4
- ✓ カスケード接続時に中間のパネルの電源が切れても、その他のパネルは操作可能(エマージェンシーバイパス機能)
- ✓ 操作対象のチャンネルは本体正面のスイッチで切り換え可能 ※4
- ✓ リモート／ローカルの設定が可能
- ✓ パネル全体の操作を禁止する LOCK スイッチを搭載

※1 漢字8文字表示は2行で表示します。 ※2 MTX-70本体に付属のCDROMIに含まれるアプリケーション「ボタンエディット」を使用します。PCとVbus-70B、Vbus-70C筐体をネットワークで接続し、MTX-70本体に設定を登録します。 ※3 MTX-70P-81のみ対応 ※4 MTX-70本体とは、MTX-70-84、MTX-70-88を指します。MTX-70-164、MTX-70-168と接続した場合でも操作は可能ですが、入力ソース9～16の選択ができません。
 ※4 誤操作防止用のスイッチカバーを標準で付属しています。



MTX-70P-81正面



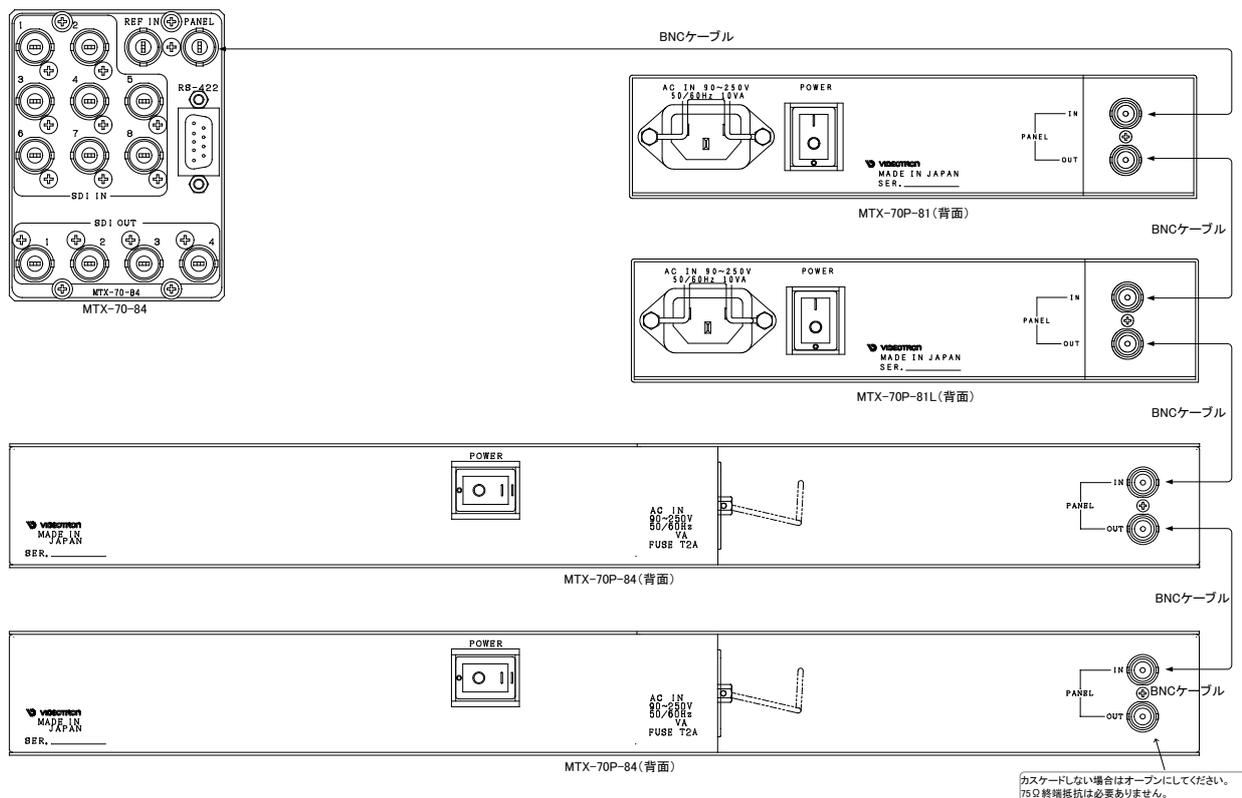
MTX-70P-81L正面 (スイッチカバー装着図)



MTX-70P-81,L背面

接続図

MTX-70-84 と、MTX-70P-81、MTX-70P-81L、MTX-70P-84×2 を組み合わせた場合の接続図です。

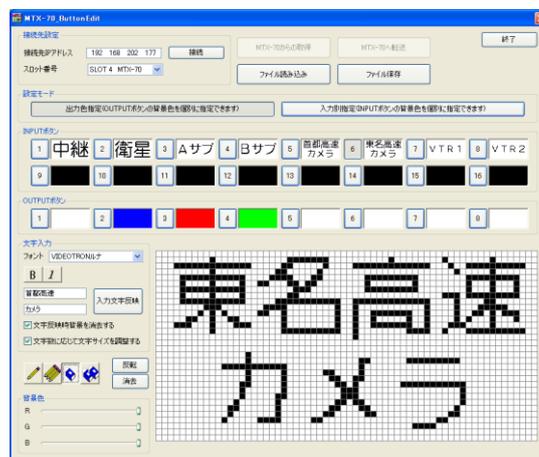


ボタンエディット

MTX-70 本体をご購入いただくと、付属の CDROM にアプリケーションソフト「ボタンエディット」が付いております。「ボタンエディット」を使用すると、MTX-70P-81 に任意の文字を表示させることができます。文字の登録は「ボタンエディット」をインストールした PC と MTX-70 本体を実装した Vbus-70B、Vbus-70C 筐体をネットワーク接続して行います。エディットしたデータは MTX-70 本体に保存されますので、電源を入れる度にデータを転送する必要はありません。データを保存した MTX-70 本体と MTX-70P-81 を BNC ケーブルで接続すると、自動的に MTX-70P-81 に文字情報が転送されます。MTX-70P-81 を増設する際も、セットアップの必要は無いので簡単です。エディットしたデータを PC のハードディスクにバックアップすることもできます。また、バックライトの発光色を、入力チャンネル毎、あるいは出力チャンネル毎に指定することができます。「ボタンエディット」は Windows アプリケーションです。フォントは、Windows OS にインストールされたトゥルータイプフォントがご使用頂けます。

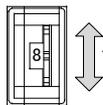


【ボタンの表示例】



【ボタンエディット】

機能

制御対象出力チャンネル設定	<p>制御対象とする出力チャンネルの選択は、操作パネル正面のサムロータリースイッチで行います。制御対象の出力チャンネルを固定して使う場合は、付属のスイッチカバーを装着することで、誤操作を防止できます。</p> 
入力ソース選択	<p>入力ソースの選択は8個のボタンでダイレクトに行います。MTX-70P-81は選択している入力ソースに対応したボタンのバックライトが強く発光します。MTX-70-81Lでは選択している入力ソースに対応したボタンが緑色に発光します。</p>
REMOTELocal切り換え	<p>制御対象の出力チャンネルに対してリモート/ローカルの設定ができます。スイッチの操作で、下記の四通りの設定が可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> REMOTE ONLOCAL OFF リモート制御のみで手動制御は不可です。 REMOTE OFFLOCAL ON 手動制御のみで、RS-422によるリモート制御は禁止します。 REMOTE ONLOCAL ON リモート制御、手動制御ともに有効です。 REMOTE OFFLOCAL OFF リモート制御、手動制御ともに禁止です。変更禁止設定です。 <p>これらの設定は、カスケードしている操作パネル全てに連動します。</p>
STATUSランプ	<p>MTX-70本体と接続して、操作可能状態の時緑色に点灯します。操作不能の時、橙色点滅します。</p>
LOCKスイッチ	<p>MTX-70P-81,Lの操作を禁止にします。カスケードしている、その他の操作パネルには連動しません。</p>
文字表示設定	<p>デフォルトで入力ソースボタンに1～8の数字が表示されますので、工場出荷状態でもご使用頂けます。ボタンエディットでスイッチの表示をカスタマイズすることで操作性が向上します。漢字は2行表示で最大8文字。英数半角では、16～18文字程度まで表示可能です。※MTX-70P-81のみ</p>
ボタン発光色設定	<p>ボタンの発光色は、ボタンエディットを使用してカスタマイズできます。 ※MTX-70P-81のみ</p>
入力INHIBIT設定	<p>指定した入力ソースボタンの操作を抑制できます。誤って他系統の入力を選択するのを防ぎます。設定はパネル単体に保持され、カスケードしている他のパネルには連動しません。</p>
カスケード機能	<p>一台のMTX-70本体に対して、MTX-70P-81,Lを最大8台までカスケード接続できます。操作は全て連動します。各MTX-70P-81,L間の接続は、3C2Vのケーブルで100Mまで伸ばすことができます。</p>
エマージェンシーバイパス機能	<p>カスケード接続の際、中間のMTX-70P-81,Lの電源が切れてもエマージェンシーバイパス機能が働き、後段のMTX-70P-81,Lの制御は可能です。</p>

構成

MTX-70-84(別売)	8×4マトリックススイッチャー
MTX-70-88(別売)	8×8マトリックススイッチャー
MTX-70P-84(オプション)	8×4対応マトリックススイッチャーパネル
MTX-70P-88(オプション)	8×8対応マトリックススイッチャーパネル
MTX-70S-84(オプション)	8×4対応 RS-422セレクター
MTX-70G-84(オプション)	8×4対応 GPIセレクター
MTX-70P-81	8×1モニターセレクトパネル 漢字表示機能付き
MTX-70P-81L	8×1モニターセレクトパネル ローコスト版 漢字表示機能無し
GPI-70B(オプション)	GPIインターフェイス 16パターンプリセットを16本の接点で切り替え
USB-422(オプション)	USB⇄RS-422変換機 PCでRS-422制御する時使用

RM-94(オプション)

ラックマウントキット 1UスペースにMTX-70P-42, Lを二台まで実装可

定 格

外部 I/F

- ・ PANEL IN 2Vp-p/75Ω、BNC 1系統
- ・ PANEL OUT 2Vp-p/75Ω、BNC 1系統

動作温度 0～40℃

動作湿度 20～80%RH(ただし結露なき事)

電源 AC100～240V±10%、50/60Hz

消費電力 10VA

質量 0.7kg

外形寸法 200(W)×44(H)×80(D)mm(突起物含まず)

性 能

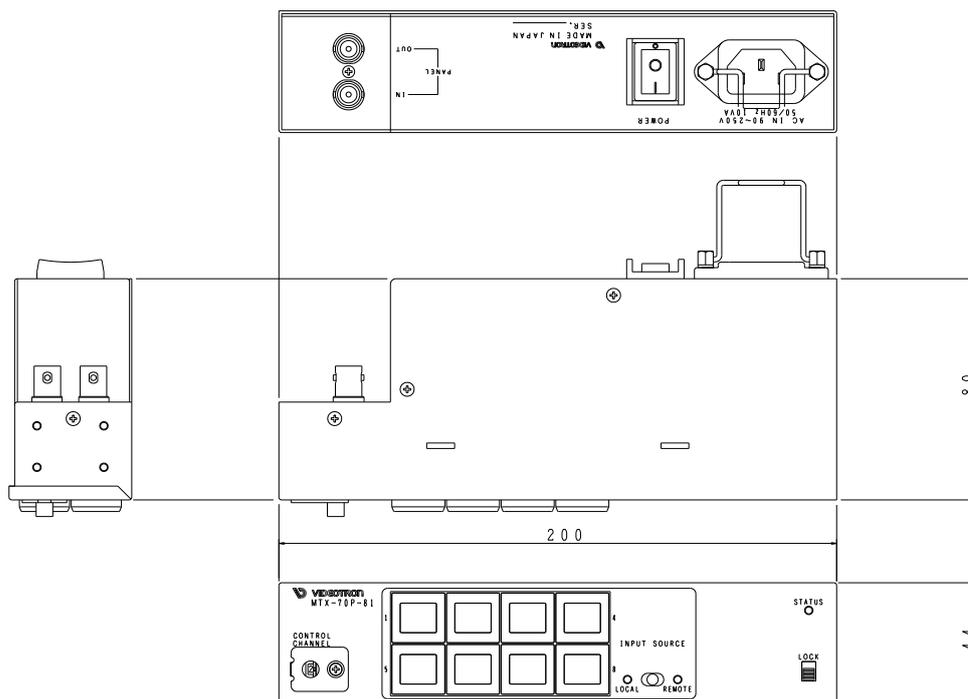
外部 I/F

- ・ PANEL IN 100m/3C2V
- ・ PANEL OUT 100m/3C2V

※エマージェンシーバイパス機能は機械リレーを使用している関係で、連続して複数のパネルの電源が同時に切れた場合の動作保障は致しかねます。

最大カスケード接続台数 8台

外形図



※MTX-70P-81Lの外形寸法はMTX-70P-81と同じです。